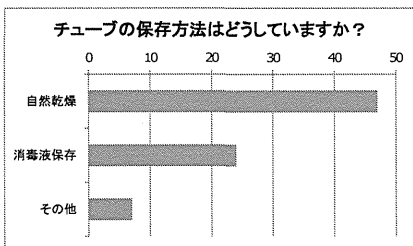
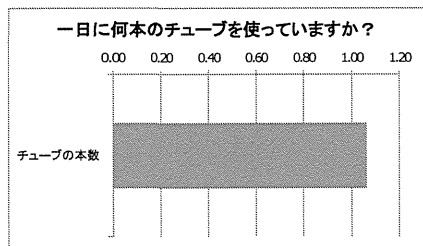
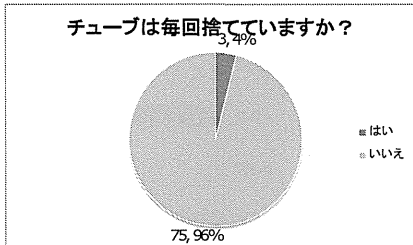
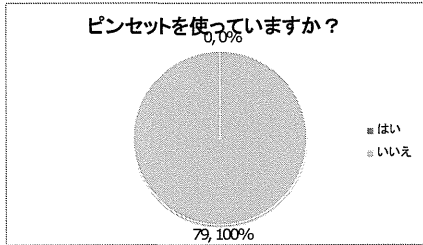
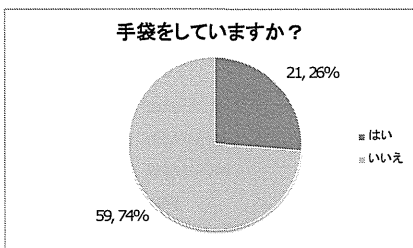
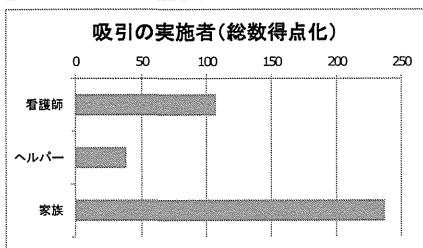
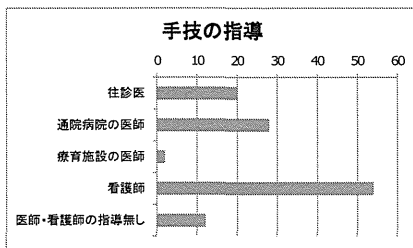
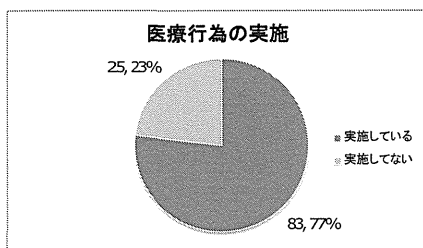


★医療行為(問15)

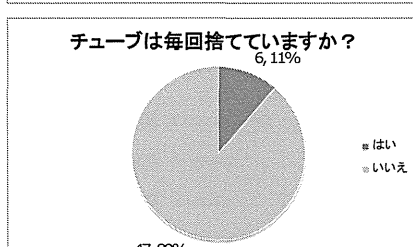
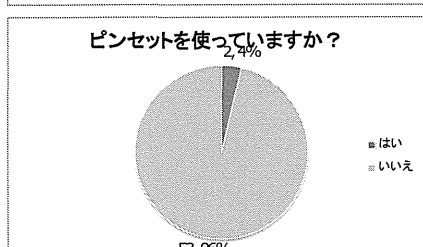
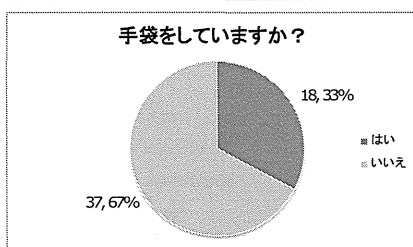
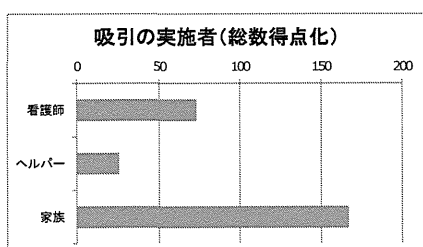
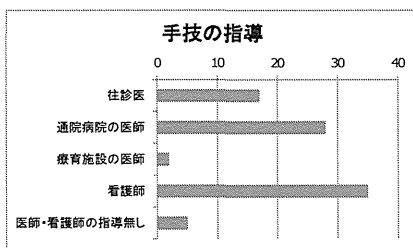
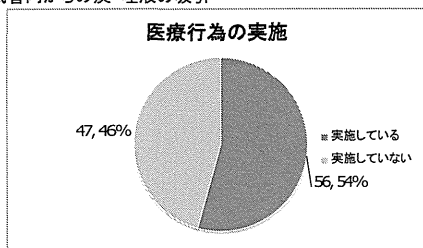
設問 番号	選択肢	単回答	複数回答						合計						空白	合計															
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6																	
問15	口腔内・鼻腔からの痰・唾液の吸引	医療行為の実施	実施している1 実施していない2	SA	83	25													実施している	83	25							10	118		
		手技の指導	1.往診医,2.通院病院の医師,3.療育施設の医師,4.看護師,5.医師・看護師の指導無し の当てはまる番号を全て記載	MA	2	6	0	25	9		18	22	2	29	3					往診医	20	28		2	54			12	42	158	
		吸引(多い順)	1	1看護師,2ヘルパー,3家族	SA	0	1	79			0	0	0							看護師	0	1			79				38	118	
			2		SA	47	15	0			0	0	0								47	15			0				56	118	
			3		SA	13	5	0			0	0	0								13	5			0				100	118	
																					107	38			237						
		手袋	はい1 いいえ2	SA	21	59					0	0								はい	21	59							38	118	
		ピンセット	はい1 いいえ2	SA	0	79					0	0								はい	0	79							39	118	
		チューブ	はい1 いいえ2	SA	3	75					0	0								はい	3	75							40	118	
		チューブの本数																		チューブの本数											
																					平均	1.06								46	
		保存方法	1.自然乾燥 2.消毒液保存 3.その他(どれか1つを番号で)	SA	47	24	7				0	0	0							自然乾燥	47	24		7					40	118	
気管内からの痰・唾液の吸引	医療行為の実施	実施している1 実施していない2	SA	56	47					0	0								実施している	56	47							15	118		
		手技の指導	1.往診医,2.通院病院の医師,3.療育施設の医師,4.看護師,5.医師・看護師の指導無し の当てはまる番号を全て記載	MA	2	7	0	11	1		15	21	2	24	4					往診医	17	28		2	35		5	68	155		
		吸引(多い順)	1	1看護師,2ヘルパー,3家族	SA	0	0	55			0	0	0							看護師	0	0			55				63	118	
			2		SA	31	11	1			0	0	0								31	11			1				75	118	
			3		SA	11	3	0			0	0	0								11	3			0				104	118	
																					73	25			167						
		手袋	はい1 いいえ2	SA	18	37					0	0								はい	18	37							63	118	
		ピンセット	はい1 いいえ2	SA	2	53					0	0								はい	2	53							62	117	
		チューブ	はい1 いいえ2	SA	6	47					0	0								はい	6	47							65	118	
		チューブの本数																			チューブの本数										
																					平均	1.32								63	64
		保存方法	1.自然乾燥 2.消毒液保存 3.その他(どれか1つを番号で)		30	17	8				0	0	0							自然乾燥	30	17		8					63	118	
気管カニューレ	医療行為の実施	実施している1 実施していない2	SA	51	48					0	0								実施している	51	48							19	118		
		手技の指導	1.往診医,2.通院病院の医師,3.療育施設の医師,4.看護師,5.医師・看護師の指導無し の当てはまる番号を全て記載	MA	10	9	1	1	1		18	24	3	11	2					往診医	28	33		4	12		3	71	151		
		気管カニューレの交換	1.自宅,2.病院,3.その他(どれか1つを番号で)	SA	30	9	0				9	9	2							自宅	39	18		2				69	128		
		誰がやっているか?	1.医者,2.看護師,3.家族(父・母)(どれか1つを番号で)	SA	26	1	21				4	0	4							医者	30	1		25					66	122	
		Y字ガーゼ	はい1 いいえ2	SA	44	8					0	0								はい	44	8							66	118	
		消毒	はい1 いいえ2	SA	19	33					0	0								はい	19	33							66	118	
		検査	はい1 いいえ2	SA	17	35					0	0								はい	17	35							66	118	

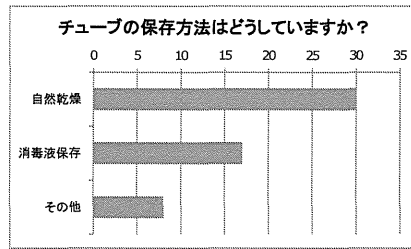
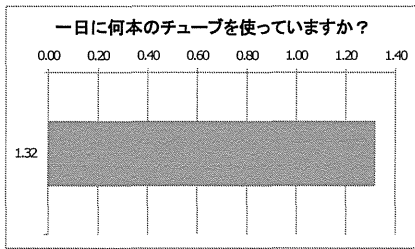


■ 口腔内・鼻腔からの痰・唾液の吸引

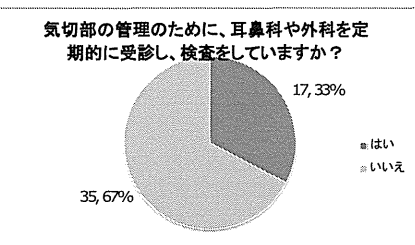
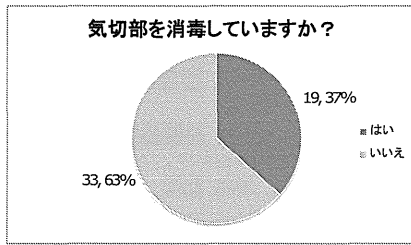
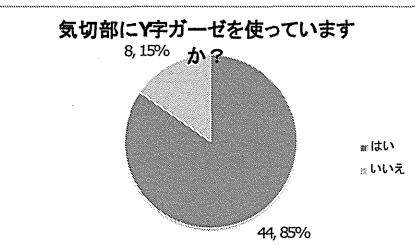
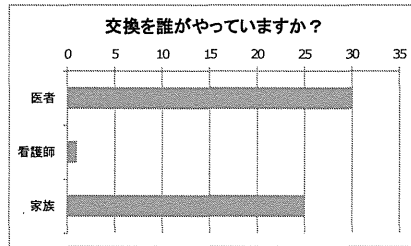
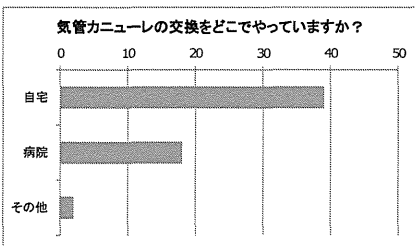
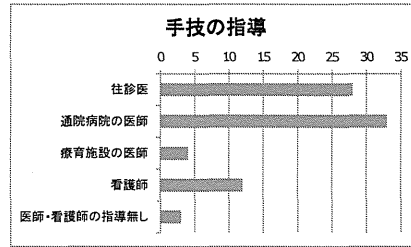
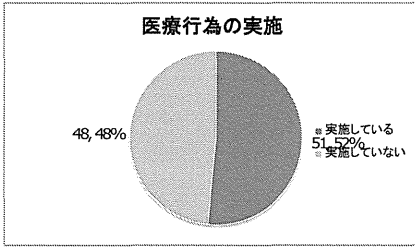


■ 気管内からの痰・唾液の吸引

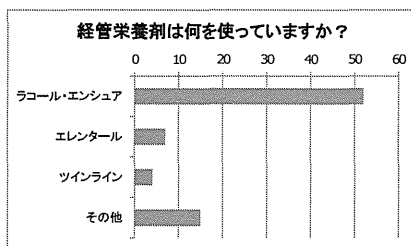
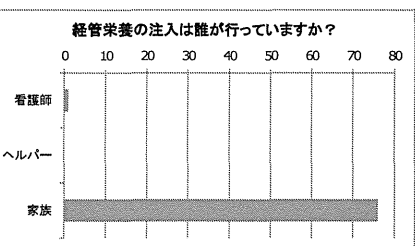
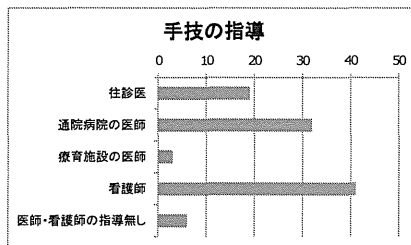
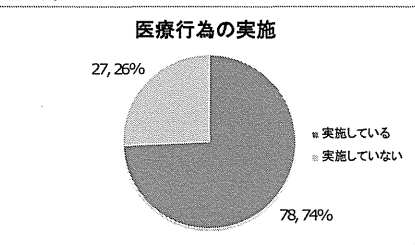


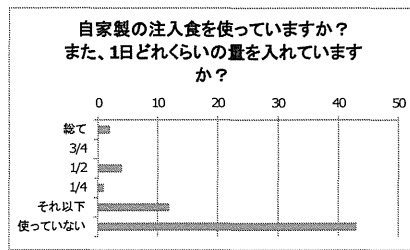
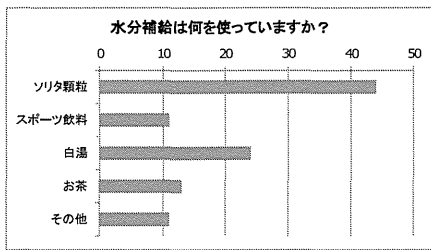


■気管カニューレ

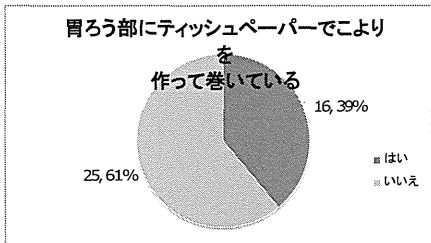
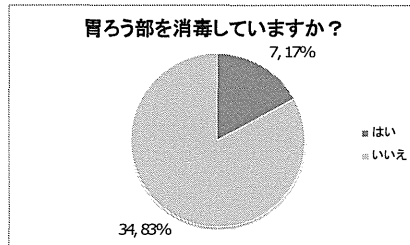
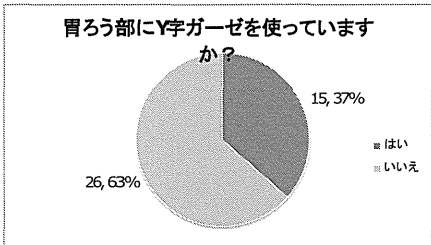
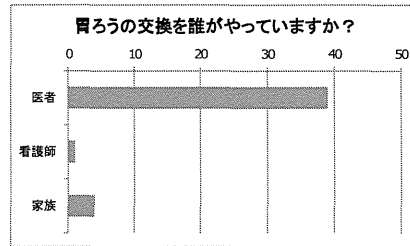
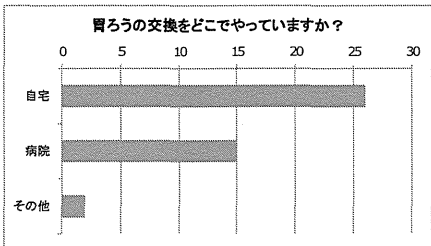
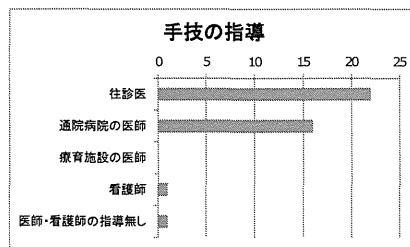
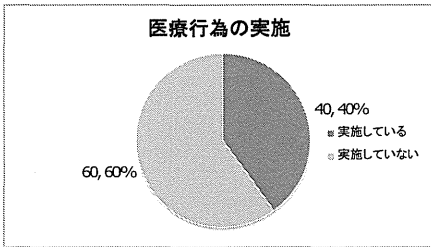


■経管栄養

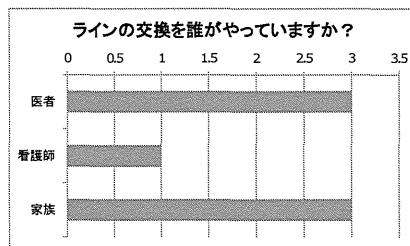
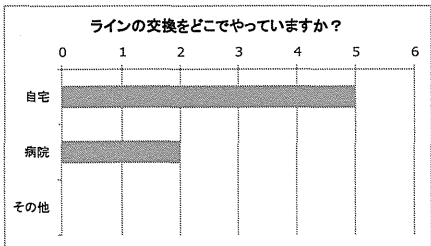
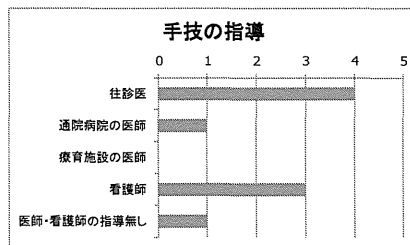
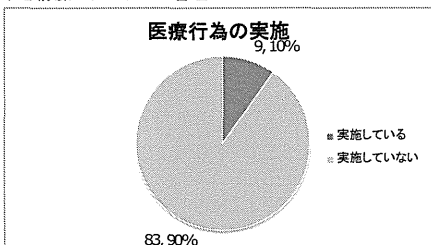


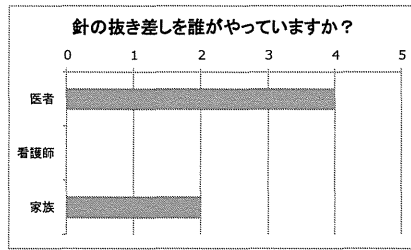
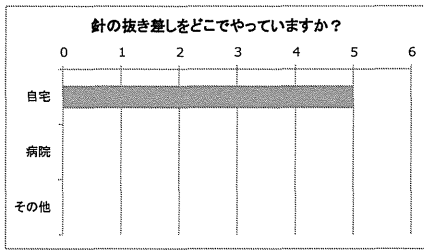


## ■胃ろうの交換

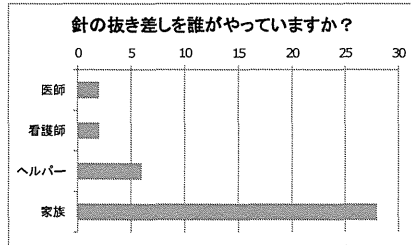
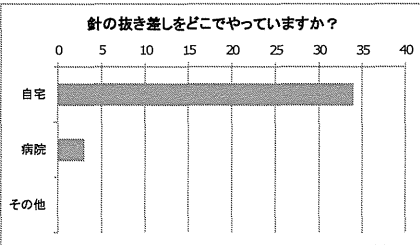
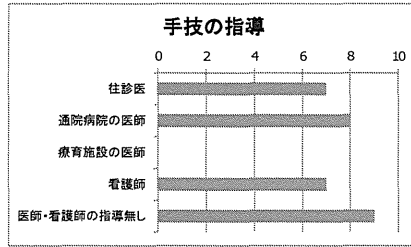
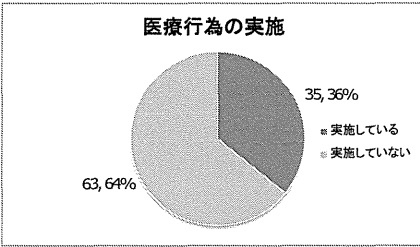


## ■中心静脈カテーテルの管理



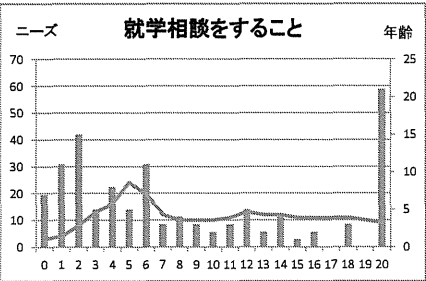
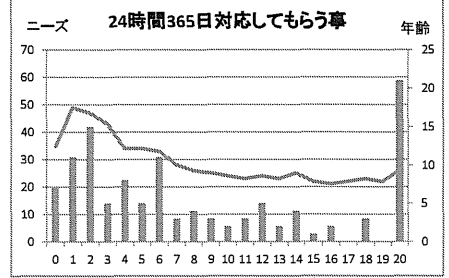
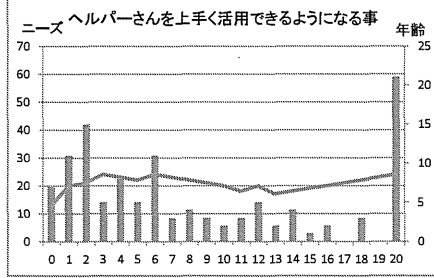
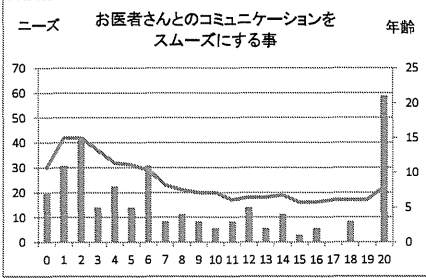
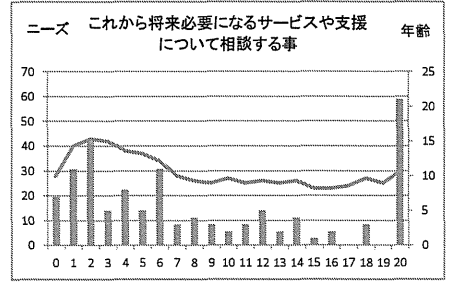
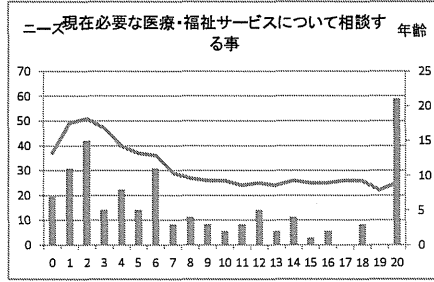
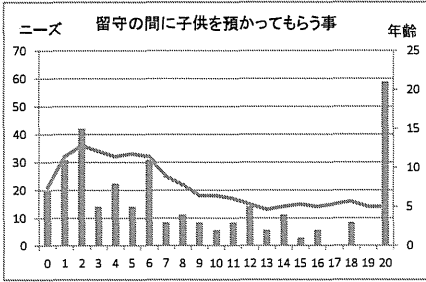
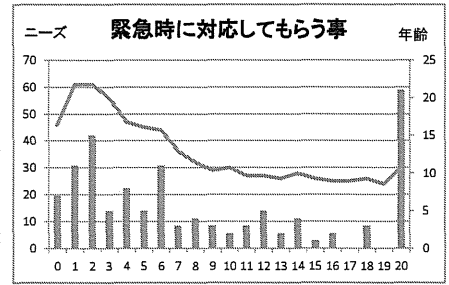
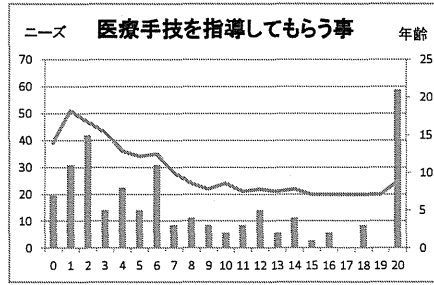
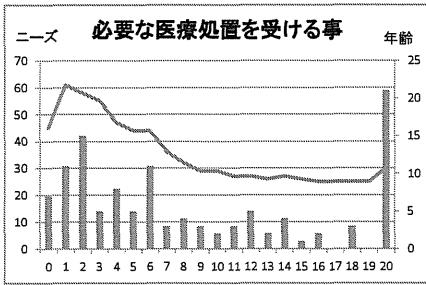


■人工呼吸器の回路交換



★発達段階に応じたニーズ(問16)

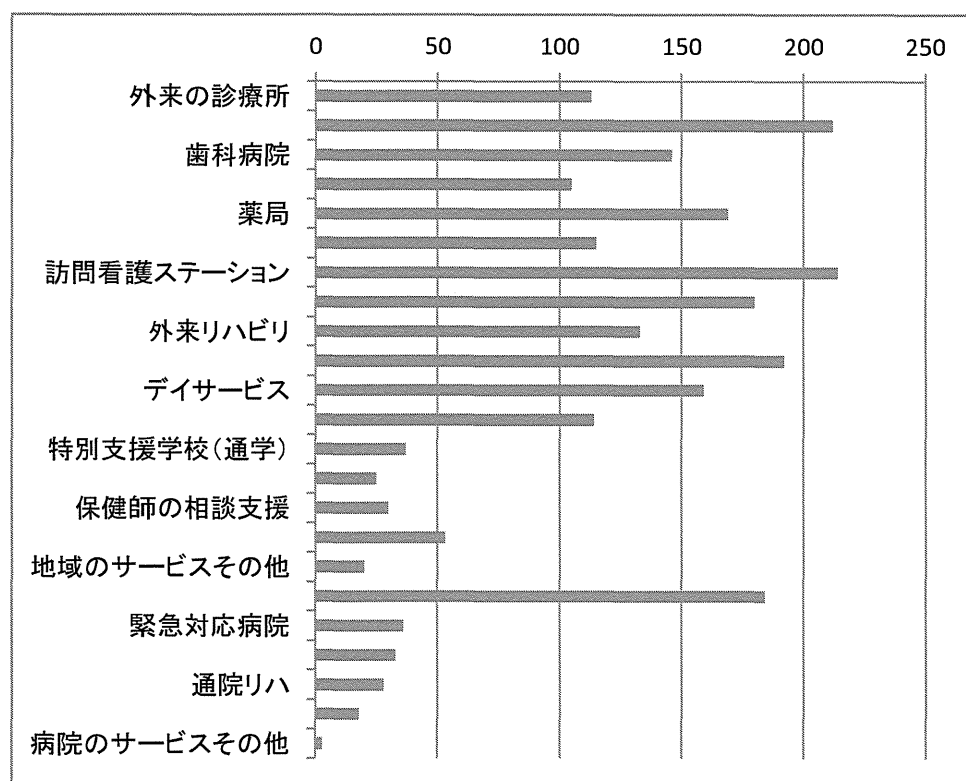
年齢	ニーズ有		ニーズ無		割合	合計	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計
	有	無	有	無			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
1.必要な医療処置を受ける事	開始						7	11	15	5	8	5	11	3	4	3	2	3	5	2	4	1	2	0	3	0	21	
	終了						45	17	5	5	2	2	3	2	0	0	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	5	94
	年齢ニーズ						1	8	8	10	5	3	10	4	3	1	3	1	2	0	2	1	1	0	1	0	20	84
	要望	94	24	80%	20%	118	45	61	58	55	47	44	44	36	32	29	29	27	27	26	27	26	25	25	25	25	30	
2.医療手技を指導してもらう事	開始						39	13	5	4	3	2	4	2	0	0	3	0	2	1	1	1	0	1	0	1	5	87
	終了						1	9	8	10	4	3	9	4	2	1	3	1	2	0	3	0	1	0	1	0	14	76
	年齢ニーズ						39	51	47	43	36	34	35	28	24	22	24	21	22	21	22	20	20	20	20	20	25	
	要望	87	31	74%	26%	118	39	51	47	43	36	34	35	28	24	22	24	21	22	21	22	20	20	20	20	20	25	
3.緊急時に対応してもらう事	開始						46	16	6	5	2	2	2	2	0	0	2	2	2	1	2	1	0	1	1	0	6	99
	終了						1	6	10	11	4	3	10	4	3	1	5	2	2	0	3	1	1	0	2	0	18	87
	年齢ニーズ						46	61	61	56	47	45	44	36	32	29	30	27	27	26	28	26	25	25	26	24	30	
	要望	99	19	84%	16%	118	46	61	61	56	47	45	44	36	32	29	30	27	27	26	28	26	25	25	26	24	30	
4.留守の間に子供を預かってもらう事	開始						21	11	8	4	3	4	2	2	0	0	1	2	0	0	1	1	0	1	1	0	0	62
	終了						0	4	6	5	3	3	9	3	4	1	3	2	2	0	0	1	0	0	2	0	8	56
	年齢ニーズ						21	32	36	34	32	33	32	25	22	18	18	17	15	13	14	15	14	15	16	14	14	
	要望	62	56	53%	47%	118	21	32	36	34	32	33	32	25	22	18	18	17	15	13	14	15	14	15	16	14	14	
5.現在必要な医療・福祉サービスについて相談する事	開始						37	13	7	5	3	2	2	3	1	0	1	1	3	1	2	2	0	1	0	0	3	87
	終了						1	5	9	10	5	3	10	3	1	1	3	2	2	0	3	0	0	0	4	0	14	76
	年齢ニーズ						37	49	51	47	40	37	36	29	27	26	26	24	25	24	26	25	25	26	26	22	25	
	要望	87	31	74%	26%	118	37	49	51	47	40	37	36	29	27	26	26	24	25	24	26	25	25	26	26	22	25	
6.これから将来必要になるサービスや支援について相談する事	開始						28	12	7	6	4	3	2	2	1	0	3	1	2	1	1	1	0	1	3	0	5	83
	終了						0	4	7	8	4	5	8	3	1	1	3	1	2	0	4	0	0	0	2	0	16	69
	年齢ニーズ						28	40	43	42	38	37	34	28	26	25	27	25	26	25	26	23	23	24	27	25	30	
	要望	83	35	70%	30%	118	28	40	43	42	38	37	34	28	26	25	27	25	26	25	26	23	23	24	27	25	30	
7.お医者さんとのコミュニケーションがスムーズにする事	開始						30	12	5	6	2	2	1	2	1	0	1	0	2	1	1	0	0	1	0	1	5	73
	終了						0	5	11	7	3	3	8	3	1	1	3	1	1	0	3	0	0	0	1	0	12	63
	年齢ニーズ						30	42	42	37	32	31	29	23	21	20	20	17	18	18	19	16	16	17	17	17	22	
	要望	73	45	62%	38%	118	30	42	42	37	32	31	29	23	21	20	20	17	18	18	19	16	16	17	17	17	22	
8.ヘルパーさんを上手く活用できるようになる事	開始						13	7	3	7	2	3	3	4	1	0	0	0	2	0	1	2	1	1	1	1	2	54
	終了						0	2	4	3	4	1	5	2	1	1	2	0	3	0	1	0	0	0	0	1	13	43
	年齢ニーズ						13	20	21	24	23	22	24	23	22	21	20	18	20	17	18	19	20	21	22	23	24	
	要望	55	63	47%	53%	118	13	20	21	24	23	22	24	23	22	21	20	18	20	17	18	19	20	21	22	23	24	
9.24時間365日対応してもらう事	開始						35	15	4	4	1	3	1	3	1	0	1	1	1	1	2	0	0	1	1	1	4	80
	終了						1	6	8	10	3	2	8	3	1	2	2	0	2	0	3	1	0	0	2	0	16	70
	年齢ニーズ						35	49	47	43	34	34	33	28	26	25	24	23	24	23	25	22	21	22	23	22	26	
	要望	80	38	68%	32%	118	35	49	47	43	34	34	33	28	26	25	24	23	24	23	25	22	21	22	23	22	26	
10.就学相談をすること	開始						3	1	4	8	6	9	6	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	40
	終了						0	0	3	3	1	10	8	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	31
	年齢ニーズ						3	4	8	13	16	24	20	12	10	10	10	11	13	12	12	11	11	11	11	10	9	
	要望	40	78	34%	66%	118	3	4	8	13	16	24	20	12	10	10	10	11	13	12	12	11	11	11	11	10	9	





現在活用中及び、過去に活用したことがある全てのサービス

1	外来の診療所	113
2	往診の診療所	212
3	歯科病院	146
4	訪問歯科医院	105
5	薬局	169
6	訪問サービスを行う薬局	115
7	訪問看護ステーション	214
8	訪問リハビリ	180
9	外来リハビリ	133
10	訪問ヘルパーステーション	192
11	デイサービス	159
12	ショートステイ	114
13	特別支援学校(通学)	37
14	特別支援学校の訪問学級	25
15	保健師の相談支援	30
16	行政の障害福祉課	53
17	地域のサービスその他	20
18	病院(通院・入院含む)	184
19	緊急対応病院	36
20	病院歯科	33
21	通院リハ	28
22	病院の相談室	18
23	病院のサービスその他	3



## おわりに

現在、我が国の小児医療は、大きな分岐点に立たされている。我が国で、死亡する20歳未満の小児は、昨年で年間6000人を切った。死亡原因で最も多いのが事故死であることを考えると、病気で亡くなる子どもは、非常に少なくなった。また、我が国の新生児医療は、世界一の救命率を誇っている。我が国は「子どもが死なない国」になったのである。これは、ある意味では、我々小児科医の夢が叶ったということである。私も、自分が懸命に診療してきた子どもを見送る時、「子どもが死なない世界になれば・・・」と痛切に願ったことが何度もあった。しかし、その夢が実現したとも言える今、私たちは新たな問題に直面している。医療に依存して生存する病弱・重症児の急激な増加に、既存の医療システムが耐えられなくなっているのである。

医療依存度の高い超重症児は、病院から退院できず、NICUのベッドを長期にわたって使用し、新たな入院の受け入れを困難にし、「NICU問題」として社会的な問題となっている。また、2007年の日本小児科学会倫理委員会（杉本ら）の調査によると全体の15%が、急性期病院に急性疾患で入院した後、そのまま入院を続けていると報告されている。つまり、小児の基幹病院の急性期治療ベッドも超重症児によって占められているということである。実際、大都市圏の小児基幹病院が、長期入院の超重症児によって稼働率が低下し、その機能が低下している。また、重症児を受け入れる後方施設の候補である重症心身障害児施設は、全国的にほとんど満床で入所者が死亡しない限り新規の受け入れができず、現状では新たな入所施設を作っても、すぐに満床になってしまうのは明らかである。従って、医療依存度の高い重症児者を在宅、地域で支えることのできる体制を構築し、退院を促進することで、高額な費用を要する後方施設を造らずとも、「NICU満床問題」や小児基幹病院の稼働率低下の問題を解決できる。さらに、ここで開発された標準的支援技術とその教育プログラムは、介護保険の対象となる重度障害者の在宅ケアの進歩にも大きく寄与するであろう。そして、何より、「子どもが死なない国」になった我が国の小児医療が、更に進化し、次なる段階、「救命し治す医療」に加え「癒し、支える医療」を包含したものになることを推進すると考える。

本研究が、我が国の小児医療の進歩に少しでも寄与し、我が国の小児医療が次なるパラダイムへと進化することを切に願う。

最後に、本研究にご尽力いただいた分担研究者、研究協力者、更に、支え、ご協力頂いた多くの皆さまに心からの感謝を述べさせていただき、次年度に進めていきたい。

2013年3月

医療法人財団はるたか会

子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田院長

東京医科歯科大学医学部 非常勤講師

前田 浩利

<研究者一覧>

研究代表者 前田 浩利 医療法人財団千葉健愛会子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田  
研究分担者 田村 正徳 埼玉医科大学総合医療センター 小児科  
小沢 浩 社会福祉法人日本心身障害児協会 島田療育センターはちおうじ  
吉野 浩之 群馬大学大学院 教育学研究科  
荒木 聡 東京都立駒込病院 小児科  
奈良間 美保 名古屋大学大学院 医学系研究科  
梶原 厚子 NPO 法人あおぞらネット  
福田 裕子 ケアラーズジャパン株式会社 まちのナースステーション八千代  
西海 真理 国立成育医療研究センター 看護部  
研究協力者 側島 久典 埼玉医科大学総合医療センター 小児科  
森脇 浩一 埼玉医科大学総合医療センター 小児科  
奈倉 道明 埼玉医科大学総合医療センター 小児科  
宮田 章子 みやた小児科  
田中 総一郎 東北大学大学院医学研究科発生・発達医学講座小児病態学分野  
恒川 幸子 梶原診療所 在宅サポートセンター  
島津 智之 独立行政法人熊本再春荘病院小児科  
松岡 真里 独立行政法人国立病院機構 香川小児病院  
佐々木 佐代子 合資会社オフアーズ 訪問看護ステーションおたすけまん  
井川 夏実 医療法人財団千葉健愛会 訪問看護ステーションあおぞら  
山崎 雪 医療法人財団千葉健愛会 子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田  
木暮 紀子 国立成育医療研究センター 医療連携・患者支援センター  
高橋 昭彦 ひばりクリニック  
李 国本 修慈 NPO 法人地域生活を考えよーかい 有限会社しゅあーど こうのいけスペース  
下元 佳子 合資会社オフアーズ 訪問看護ステーションおたすけまん  
関根 まき子 社会福祉法人すみれ福祉会 花の郷  
戸枝 陽基 社会福祉法人 むそう  
長島 史明 医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所新松戸  
緒方 健一 医療法人おがた会 おがた小児科・内科医院  
平井 孝明 平井こどもリハビリテーションサービス  
中川 尚子 医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所新松戸  
中野 弘陽 特定非営利活動法人あおぞらネット 訪問看護ステーションそら

平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）

「医療依存度の高い小児及び若年成人の重度心身障がい者への在宅医療における  
訪問看護師、理学療法士、訪問介護員の標準的支援技術の確立と  
その育成プログラムの作成のための研究」総括・分担研究報告書

発行者 東京医科歯科大学 医学部 前田浩利

住所 東京都文京区湯島 1-5-45

発行年月日 平成 25 年 3 月

